

区分・種別	県指定有形文化財（石造美術）		
名称	ゆがま 湯釜 1基		
所在地	松山市道後公園		
所有者	松山市	管理団体	
指定年月日	昭和29年11月24日		
解説	<p>この湯釜は、道後温泉の浴槽内の湧出口<small>ゆうしゅつぐち</small>に設置してあったものである。直径は166.7cm、高さ157.6cm、円筒形の花崗岩製である。</p> <p>この湯釜は、奈良時代の天平勝宝（749～757）年間に作られたといわれ、正応元（1288）年、河野通有<small>みちあり</small>の依頼により一遍上人が宝珠に「南無阿弥陀仏」の6字名号を刻んだという。享禄4（1531）年、河野通直<small>みちなお</small>は道后天徳寺の僧、徳応に霊泉の効用に関する文を作らせ、石工を尾道から招いて刻ませた。12行の石文のほかに次の大工名、願主名と紀年銘が刻まれている。</p> <p>願主柳原左衛門尉 大工備後尾道芥河 重 享禄四天辛卯小春如意珠白 明治27（1894）年まで使用されたものである。</p>		

